



# 第66回そめおり展開催!

## 首

里高校染織デザイン科は、染織工芸の技術・デザイン教育を行う学科として、昭和33年(1958年)に設置され、沖縄の伝統工芸である「染め」「織り」の技術の継承と産業の発展に寄与することと、工芸教育を通じて感性を磨き、豊かな創造性を養うことを教育の理念としています。



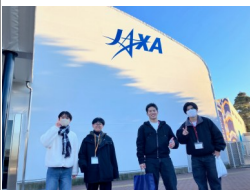
今年も1月27日(火)から2月1日(日)までパレットくもじ6階の那覇市民ギャラリーにて首里高校染織デザイン科卒業作品展「第66回そめおり展」が開催され、3年生34人が手がけた卒業作品130点が展示されました。初日のオープニングセレモニーでは、玉寄結子さん(石嶺中)・高江洲真那さん(神森中)の司会の下、校長あいさつと養秀同窓会の與儀毅会長の祝辞、「染め」の田場明未華さん(港川中)、「織り」の榎本和美さん(嘉数中)が代表あいさつを述べました。

会場では生徒一人一人が丁寧に染めて織りあげた美しい着物や日傘、小物などが展示され、中でも庄巻は会場の壁一面を占める、全員で制作した縦2.2メートル横9.6メートルの大きな壁画『勇往邁進』で、荒波に乗って進む進貢船とカラフルな魚たち、サンサンと輝く太陽を融合させ、個性豊かな81期生それぞれが世界を切り拓き、自分の新たな世界を創り出す姿を表現したデザインにしたとのこと。



また1月30日(金)には、一昨年から始まった普通科1年生全員と2年芸術選択者の参観が行われ、普段はなかなか触れる機会が少ない、染織デザイン科の作品を目の当たりにし、深い感銘を受けていました。伝統を受け継ぎ、新たな創造に挑戦する素晴らしい首里高校染織デザイン科の生徒の皆さん始めご指導くださった先生方に心より敬意を表します。

## つくば研修参加



**沖** 縄県教育委員会では、理系人材育成を目指す沖縄科学技術向上事業の一環として、国内第一線の研究施設等での研修を通し、最先端の技術に触れることで、科学に興味関心のある生徒を増やすことを目的に、先端研究施設研修(つくば研修)を行っています。

今年度も1月21日(水)から23日(金)に、KEK(高エネルギー加速器研究機構)、地質標本館、筑波実験植物園、BRC(理化学研究所リソースセンター)、JAXA(つくば宇宙センター)などを訪問しました。本校からは、1年生の花城くるみさん(玉城中)、2年生の玉那覇吉直さん(西原東中)、城間帆波さん(嘉数中)、井口豪さん(首里中)が参加しました。



他校の生徒ともすぐに打ち解け、コミュニケーションを取りながら研修を受け、研究施設では、メモを取ったり、写真を取ったり、質疑応答の時間には積極的に質問をしていったとのこと。生徒の科学に対する興味関心・熱意を感じました。

引率の我那覇先生ありがとうございました。

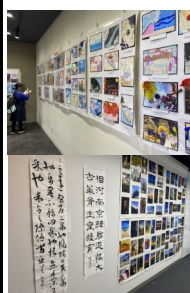
## 芸術合同発表会

**首** 里高校では、日頃の創作や演奏活動を通して芸術を愛好する心情を育み、表現力を高めるとともに、発表会を通して他分野の芸術に触れ、理解を深めることを目的に、普通科1年生全クラスおよび2年生芸術選択者による芸術合同発表会を実施しています。



今年度も1月30日(金)に開催され、美術は沖縄タイムス2階ギャラリーにて絵画・ポスター・シーサー等を、書道は琉球新報2階ギャラリーにて書作品や刻印・刻字等を展示しました。音楽は琉球新報ホールにて、2年選択者全員による三線演奏で幕を開け、合唱や独奏、3年生によるゲスト演奏など、多彩なプログラムが披露され、生徒たちは素晴らしい音楽に浸っていました。

あわせて、染織デザイン科卒業作品展「第66回そめおり展」も見学し、普段なかなか触れることのない染め・織りの作品を鑑賞するとともに、専門分野の学びへの理解と敬意を深める貴重な機会となりました。



多忙な中、企画・運営に尽力してくださった西田先生、仲里先生、上間先生に心より感謝申し上げます。